【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公開番号】特開2005-29667(P2005-29667A)
【公開日】平成17年2月3日(2005.2.3)
【年通号数】公開・登録公報2005-005
【出願番号】特願2003-195291(P2003-195291)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ 101/10 (2006.01)
Ｃ０８Ｊ 5/18 (2006.01)
Ｃ０８Ｋ 3/00 (2006.01)
Ｃ０８Ｋ 3/40 (2006.01)
Ｃ０８Ｋ 7/04 (2006.01)
Ｇ０２Ｆ 1/1333 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ 101/10
Ｃ０８Ｊ 5/18 ＣＥＹ
Ｃ０８Ｊ 5/18 ＣＥＺ
Ｃ０８Ｋ 3/00
Ｃ０８Ｋ 3/40
Ｃ０８Ｋ 7/04
Ｇ０２Ｆ 1/1333 ５００

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月22日(2007.3.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】（ａ）熱硬化性樹脂もしくは紫外線硬化性樹脂、（ｂ）粉体状の無機充填剤、（ｃ）繊維状の無機充填剤、を必須成分としたプラスチック複合シートであって、プラスチック複合シートの全重量１００重量％に対し粉体状と繊維状の無機充填材の合計量が６０～９５重量％を占め、なおかつ粉体状と繊維状の無機充填剤の重量比率が５／９５～９５／５であり、更に粉体状の無機充填剤が、融点３００～１０００℃のガラス状物質であることを特徴とするプラスチック複合シート。
【請求項２】 前記（ａ）熱硬化性樹脂もしくは紫外線硬化性樹脂の硬化後の屈折率と、（ｂ）粉体状無機充填剤、及び（ｃ）繊維状無機充填剤の屈折率の差が０．０１以下である請求項１記載のプラスチック複合シート。
【請求項３】 波長５５０ｎｍにおける光線透過率が６０％以上である請求項１または２記載の透明プラスチック複合シート。
【請求項４】 ３０～１５０℃の平均線膨張係数が２５ｐｐｍ以下である請求項１～３いずれか記載のプラスチック複合シート。
【請求項５】 前記（ａ）熱硬化性樹脂もしくは紫外線硬化性樹脂の硬化後のアッベ数が４５以上である請求項１～４いずれか記載のプラスチック複合シート。
【請求項６】 基板表面の最大表面粗さが２００ｎｍ以下であることを特徴とした請求項１～５いずれか記載のプラスチック複合シート。
【請求項７】 （ｂ）粉末状の無機充填剤が酸化珪素、酸化アルミ、酸化硼素を必須

成分とし、酸化ナトリウムの含有量が１．０ｗｔ％未満であることを特徴とするガラスである、請求項１～６いずれか記載のプラスチック複合シート。